

令和3年10月7日

▼タイトル

令和3年度展示「史跡指定100周年記念 藤樹書院跡」を開催します。

▼概要

史跡藤樹書院跡（高島市安曇川町上小川）は、「日本陽明学の祖」と呼ばれる中江藤樹の居宅および私塾のあった地で、藤樹の遺徳を伝えるための拠点として、周辺の住民らによって現在も大切に守り続けられている。現存する書院の建物は、明治13年（1880）上小川での大火により元の建物が消失し、その2年後に仮堂として建設されたものである。この建物を含めた書院跡一帯が、大正11年（1922）3月8日付で国史跡の指定を受けた。

令和4年（2022）に藤樹書院跡の史跡指定100周年を迎えるにあたり、代表的な藤樹書院の資料を展示し、書院の成り立ちから史跡指定を経て現在に至るその歴史や地域とのつながりを紹介する。

▼展示日

令和3年10月8日（金）～令和4年3月31日（木）

休館日は毎週月曜日（祝日および振替休日を除く）・祝日および振替休日翌日（土曜日または日曜日を除く）・12月29日から1月3日まで

▼場所

近江聖人中江藤樹記念館 第1展示室

▼展示例

「藤樹書院旧図」、「講堂地子免除状」他

※特別展示として、中江藤樹筆「致良知三大字」を令和3年10月8日（金）～11月14日（日）まで期間限定で展示。

▼対象

全来館者

▼問い合わせ先

- 所 属：近江聖人中江藤樹記念館
- 担当：会計年度任用職員 早川 貴子
- 電話番号：（0740）32-0330
- ファックス：（0740）32-0330



近江聖人中江藤樹記念館 令和3年度展示 「史跡指定100周年記念 藤樹書院跡」

会期 令和3年10月8日(金)～令和4年3月31日(木)

滋賀県高島市安曇川町上小川69番地 TEL (0740)32-0330

【入館料】高校生以上300円(20名以上200円)／小・中学生無料 【開館時間】9時～16時30分

【休館日】月曜日(祝日を除く)・祝日の翌日(土・日曜日を除く)・年末年始

史跡藤樹書院跡(高島市安曇川町上小川)は、「日本陽明学の祖」と呼ばれる中江藤樹の居宅および私塾のあった地で、藤樹の遺徳を伝えるための拠点として、周辺の住民たちによって現在も大切に守り続けられている。

藤樹書院は、慶安元年(1648)に藤樹とその門人や村人たちによって建てられた。現存する書院の建物は、明治13年(1880)上小川での大火により元の建物が消失し、その2年後に仮堂として建設されたものである。この建物を含めた書院跡一帯が、大正11年(1922)3月8日付で国史跡指定を受けた。

藤樹没後、藤樹書院には門人たちにより神主(儒式の位牌)が祀られ、命日には儒式祭典が行われた。この行事は現在も上小川の人たちの手により続けられ、市の無形民俗文化財に指定されている。また、所蔵品は書跡・典籍・絵画・工芸と多岐にわたり、藤樹や藤樹をめぐる人々と歴史を知る上でいずれも貴重な歴史資料である。

本展は、令和4年(2022)に藤樹書院跡の史跡指定100周年を迎えるにあたり、藤樹書院の代表的な所蔵品を展示し、書院の成り立ちから史跡指定を経て、現在に至るその歴史や地域とのつながりを紹介する。



藤樹書院旧図(藤樹書院所蔵)



徳本堂三大字 一条忠良筆
(藤樹書院所蔵)



期間限定特別展示 申江藤樹筆 『致良知三大字』

(藤樹書院所蔵)

令和3年10月8日(金)～11月14日(日)

中江藤樹の代表のおしえである「致良知(良知に致る)」。史跡指定100周年を記念し、普段は非公開の本書跡を特別に展示します。



百年、人々と共に。



国史跡藤樹書院跡